

令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 曽根東 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和4年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

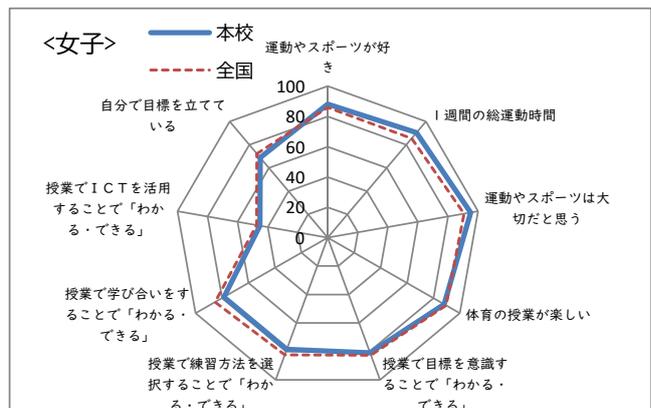
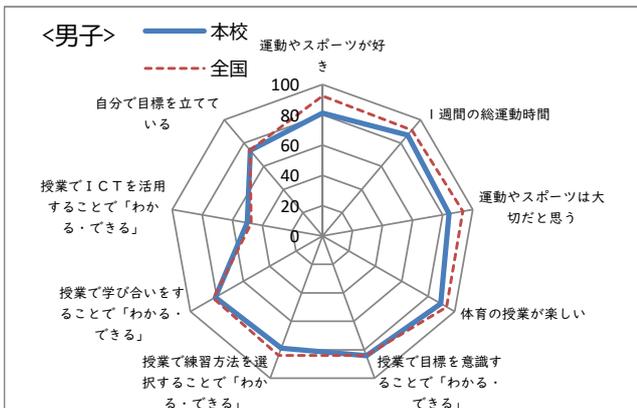
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.21	18.86	33.79	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
本市	16.29	18.72	34.05	39.47	46.86	9.51	151.13	21.34	52.55
本校全国平均以上の種目	○		○			○	○	○	

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31
本市	16.24	17.46	38.12	37.90	38.13	9.69	144.81	13.31	54.12
本校全国平均以上の種目	○		○		○	○	○		

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

○男子では、体育科の授業で「目標(ねらい・めあて)を意識して学習すること」や「タブレットなどのICTを使って学習すること」で「できたりわかったりすることがある」という質問において、肯定的回答をしている児童が全国平均より上回っている。日頃の体育科の授業をめあての提示を行ったりICT機器を活用したりしていることが肯定的回答につながっていることが分かる。女子では、「運動やスポーツが好き」と「運動やスポーツは大切だと思う」という質問において、肯定的回答をしている児童が全国平均より上回っている。体育科の授業や日ごろの運動に対して意欲的に取り組んでいることが分かる。
 ●上記の内容以外は、肯定的回答をしている児童が全国平均と同等か下回っている質問が多い。授業内容や指導法のさらなる改善や、コロナ禍で実施できなかった運動習慣を定着させるための取組を可能な範囲で段階的に実施するなど工夫が必要であると考えられる。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

○全体および個人の目標設定を行い、授業展開する。(めあて・まとめ・ふりかえりカードの提示) ○体力アップのために学習内容に応じた体力向上プログラムを学年で取り組む。○新体カテストの結果を記録し、前学年との比較で個々の伸びや今後の目標を自覚できるようにする。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

○「外遊びの推奨」新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年度から休み時間に運動場で遊ぶ学年を交代制にしていた。しかし、今年度の10月頃より全学年が運動場で遊べるようにすることで、運動する機会をこれまでより増やすように取り組んだ。